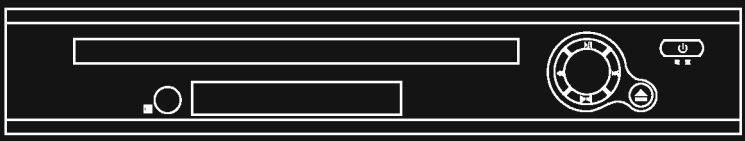
CPRM 対応

DVD PLAYER

製品型番：DS-DP206　　取扱説明書



注意.1：DVD、及び各種メディアの再生に関して…

●本製品は「リージョンコード 2」に対応しています。
2 以外のディスクの再生はできません。

●お客様がご自身で DVD レコーダーや PC 等で作成されたディスク（DVD-R/RW など）につきましては、レコーダーの種類、メディアの種類、録画モードや録画時間、タイトル・チャプター数、メニュー画面内の構造等、組み合わせも多岐に渡り、読み込みに時間がかかったり、再生できない場合があります。また、DVD-RAM ディスクの読み込みはできません。
特に VR モード、CPRM で録画したディスクにつきましては、条件の組み合わせがより複雑になり、上記の現象を起こしやすい傾向にあります（DVD-R/RW VR モードの CPRM ディスクにつきましては、必ず録画したレコーダーでファイナライズ処理を行ってください）。

●ご自身で作成したメディアの読み込みには、多少お時間がかかる場合があります。また上であげたような再生上の不具合が出た場合は、一度ディスクを取り出し、もう一度再生を行うと、読み込み始める場合がありますのでお試しください。

注意.2：テレビ方式、NTSCやPALについて…

…本製品は、国別に採用されているテレビ方式（NTSC 方式・PAL 方式等）を切り替える機能を搭載しています。テレビ方式は、接続テレビの仕様に合わせた適切な設定がなされていない場合は、正常な映像を映し出すことができません。
日本で使用されているテレビ方式のほとんどは NTSC 方式です。
本製品は日本国内での使用を前提に製造されており、工場出荷時のテレビ方式は "NTSC" に設定されています。もしも映像が白黒だったり、正常に出力されない場合は、使用中に誤って設定を切り替えてしまった可能性があります。このような場合は本書の P09・28 をご覧頂き、設定を見直してください。

目次

CPRM 対応　DVD プレーヤー
製品型番：DS-DP206
取扱説明書

はじめに …… P02

…本製品をお使い頂くにあたり、予めご了承頂きたい内容や使用上の注意等をまとめてあります。使用前に、必ずご覧ください。

1. DVD プレーヤー、リモコン各部機能 …… P06

…DVD プレーヤーと付属リモコンの各部名称と機能、リモコン電池のセット方法等を記載してあります。

2.テレビ、外部機器、電源の接続 …… P10

…DVD プレーヤーとテレビの接続や、スピーカーセットとの接続、電源との接続をまとめてあります。数種類の接続方法をご紹介していますが､つなぎ方によっては出力設定が必要になります。

3. DVD、CD 再生時の基本操作 …… P14

…DVD プレーヤーの再生方法と、再生時の基本的な操作について記載してあります。

4.セットアップ画面、各種設定 …… P24

…DVD プレーヤーの各種設定について記載してあります。外部機器との接続方法によっては、出力設定の切り替えが必要です。

5.故障かな？　と思ったら …… P34

…不具合の事例と、その解決方法等を記載してあります。

製品仕様／お問い合わせ …… P38

はじめに

この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用にあたり取扱説明書と保証書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、必要なときにお読みいただけるよう、大切に保管してください。

セット内容

パッケージの中に以下のものが入っているかよく確認してください。不足品がありましたら、弊社までお問い合わせください。また改良のため、予告無くパッケージ内容が変更されることもあります。予めご了承ください。

● DVD プレーヤー本体　●リモコン　● AV ケーブル　●取扱説明書　●保証書

使用上の注意

●本製品の電圧が接続コンセントの電圧と合っているかを確認してください（AC100 ～ 240V）。
●本製品をクリーニングする場合、シンナー、ベンジン、アルコール等は使用しないでください。
●夏の暑い車中や直射日光のあたる場所、火気の近く等、極端に温度の高い場所での使用や置き去りはおやめください。本体の変形や、故障の原因となります。
●静電気の多い場所や、ほこりの多い場所で使用しないでください。故障の原因となります。
●風呂場等、水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はおやめください。また、濡れた手で本製品を操作しないでください。ショートによる故障および感電の原因となります。
●本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。ご自身による分解が原因で故障した場合、修理をお断りいたします。
●本製品を落としたり、踏んだりしないでください。また、本体に加重を加えたり、衝撃を与えたりしないでください。
●本製品から異臭がしたり、煙が出たり、異常な音がしましたら、本体の電源プラグをコンセントから抜いて、速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。
●小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取扱を理解した大人の監視、指導のもと

で行うようにしてください。

●コネクタに接続ケーブル以外の異物を挿入しないでください。ショート、感電、発火のおそれがあります。

●本製品は無線周波を放射する為、他のオーディオ機器等の電波妨害を引き起こす恐れがあります。その場合は電源を切り、コンセントを抜いてください。対処法としては本機または他のオーディオ機器の配置、もしくはコンセントの差し込み位置を変えてください。また、それぞれのオーディオ機器との距離をとることも効果的です。

●本製品を長期間使用しない場合は、コンセントを抜いてください。

●本製品の仕様に関しまして、本書の説明と明らかに異なる操作や目的に使用した場合、故障や損傷または身体に及ぶ障害の原因となりますので絶対におやめください。この場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

●ディスクトレイには、DVD や CD 以外の異物を挿入しないでください。

DVD・CD 再生についての注意

●本機は、クラス 1 レーザー製品に分類されています。クラス 1 レーザー製品のラベルは、本プレーヤー背面に添付されています。

●本製品ではコンパクトディスク（CD）規格に準拠していない著作権保護技術付きの市販されている音楽ディスク、またはコピーコントロール CD につきましては動作、音質を保証できません。本製品での再生にあたりましては、音楽ディスクのパッケージの表示をよくお読みください。

●テレビで放映された画像やビデオソフトを営利目的、または公衆に視聴させる事を目的として画面の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

●お客様がご自身で DVD レコーダーや PC 等で作成されたディスク（CD-R/RW、DVD-R/RW など）につきましては、レコーダーの種類、メディアの種類、録画モードや録画時間、タイトル・チャプター数、メニュー画面内の構造等、組み合わせも多岐に渡り、読み込みに時間がかかったり、再生できない場合があります。また、DVD-RAM ディスクの読み込みはできません。
特に VR モード、CPRM で録画したディスクにつきましては、条件の組み合わせがより複雑になり、上記の現象を起こしやすい傾向にあります

※レコーダーにはビデオ (DVD-Video) モードと VR モードの記録方式があり、ビデオモードは市販されている DVD ビデオと同じ記録方式です。VR モードはビデオレコーディングフォーマットで、多彩な録画編集機能が特徴ですが、VR 方式に対応した機器でのみ再生可能です。

※ DVD-R/RW VR モードの CPRM ディスクにつきましては、必ず録画したレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。

●ご自身で作成したメディアの読み込みには、多少お時間がかかる場合があります。また上であげたような再生上の不具合が出た場合は、一度ディスクを取り出し、もう一度再生を行うと、読み込み始める場合がありますのでお試しください。

リージョンコード

DVD ソフト及びプレーヤーには、市場シェアを守る目的からリージョンコードという規格が設定されています。DVD ソフトとプレーヤー両者のリージョンコードが一致しなければ、ソフトを再生することができません。

※注意：本製品のリージョンコードは「2」です。「2」以外の DVD ソフトは再生できません。

リージョン 1	アメリカ・カナダ
リージョン 2	日本・欧州・中東・南アフリカ・エジプト
リージョン 3	東アジア・東南アジア・香港
リージョン 4	オーストラリア・中米・カリブ諸国・南米
リージョン 5	ロシア・北朝鮮・モンゴル・南アジア・アフリカ諸国
リージョン 6	中国

予めご了承いただきたいこと

①本書の内容、本製品の仕様・外観等については、将来予告なしに変更する事があります。

②本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたら、当社のカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

③本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断でのご使用はできません。

④万一、本機使用により生じた損害、取扱説明書記載以外の使用方法による故障・損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。

⑤接続機器との組み合わせによる誤作動等から生じた故障や損傷に関しましては当社では一切の責任を負えません。

⑥地震や雷等の自然災害・火災・第三者からの行為・その他の事故・お客様の故意または過失、誤使用、その他の明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては当社では一切の責任を負えません。

⑦故障、修理、その他の理由に起因する損害および、逸失利益につきまして、当社では一切の責任を負えません。

⑧保証書への購入日・購入店の記載のないもの、保証書に記載された内容に相違のある場合等、当社では一切の責任を負えません。

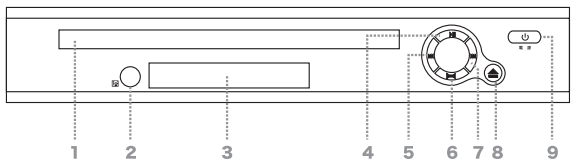
⑨本製品は、一般家庭内でのご使用を目的として製造されております。業務用（店頭ディスプレイ・営業宣伝活動での使用等）として使用した場合、保証の対象外となります。また、本製品は日本国内での使用を前提として製造されています。海外での使用に関する保証およびサポート対応はできません。

1 DVD プレーヤー リモコン各部機能

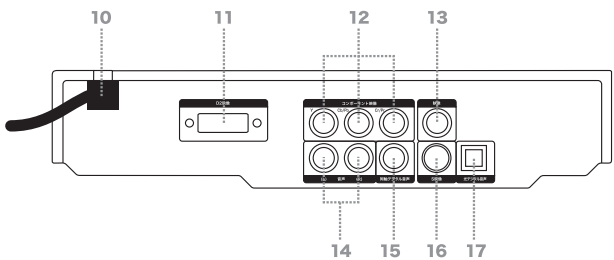
本章では、DVD プレーヤーとリモコンの各部の名称と機能をご紹介します。
具体的な使用方法（プレーヤーとテレビの接続や再生方法等）は、次章以降でご紹介してありますので、そちらをご覧ください。

DVD プレーヤー各部機能と名称

● DVD プレーヤー本体前面



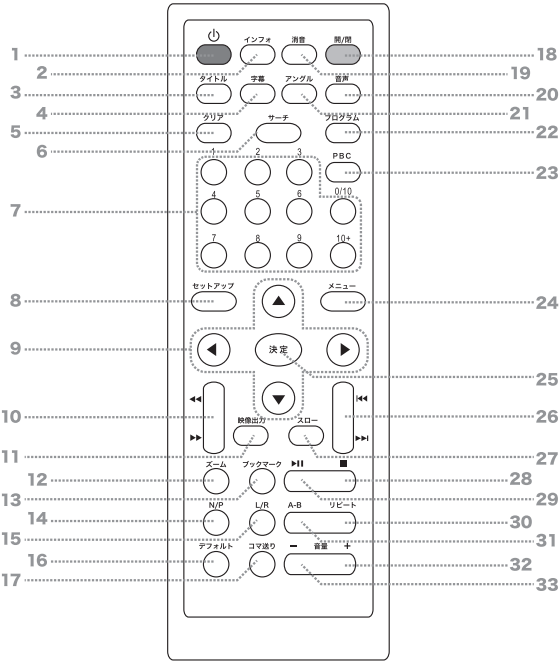
● DVD プレーヤー本体背面／端子部



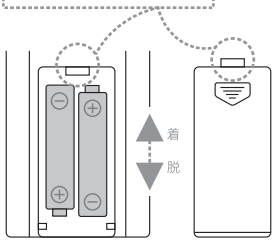
No.	名　称	機　能
1	ディスクトレイ	DVD や CD をセットします。
2	リモコン受光部	リモコン操作はこちらに向けて行ないます。
3	液晶ディスプレイ	再生中のチャプターや時間を表示します。
4	再生／一時停止ボタン	ディスクの再生、及び再生中の一時停止動作を行ないます。
5	頭出し（戻る）	DVD（CD）を再生中、前のチャプター（トラック）を頭出しします。
6	L／R	音声出力方式を切り替えます（CD 再生時に限り有効）。
7	頭出し（進む）	DVD（CD）を再生中、次のチャプター（トラック）を頭出しします。
8	オープンボタン	ディスクトレイを開閉します。
9	主電源スイッチ	押し込むことで、主電源のオン／オフを切り替えます。ここがオフになっていると、リモコン等の全ての操作は受け付けません。
10	電源ケーブル	家庭用コンセントに接続します。
11	D2 映像出力	テレビに接続し、D2 映像を出力します。 〈接続用の D 映像ケーブルは別売です〉
12	コンポーネント映像出力	テレビに接続し、コンポーネント映像を出力します。 〈接続用のコンポーネント映像ケーブルは別売です〉
13	映像出力	テレビに接続し、コンポジット映像を出力します。 〈付属の AV ケーブルで接続します〉
14	音声出力	テレビに接続し、2ch 音声を出力します。 〈付属の AV ケーブルで接続します〉
15	デジタル音声出力	スピーカーセットに接続し、デジタル音声を出力します。 〈接続用のデジタル音声ケーブルは別売です〉
16	S 映像出力	テレビに接続し、S 映像を出力します。 〈接続用の S 映像ケーブルは別売です〉
17	光デジタル音声出力	スピーカーセットに接続し、デジタル音声を出力します。 〈接続用の光デジタル音声ケーブルは別売です〉

※各操作の詳細は、〈Chapter.3　DVD、CD 再生時の基本操作〉をご覧ください。

リモコン各部機能と名称



取り付け時は蓋のツメと、本体のくぼみを合わせてはめ込みます



リモコン用電池のセット／交換

①リモコンを裏面にし、電池蓋側の矢印の彫り込み部分を親指で軽く押しながら、左図中の矢印：脱の方向へスライドすると、本体から電池蓋が外れます。

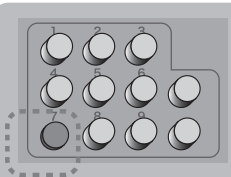
②図の向きで単四型乾電池をセットしてください（マンガン電池推奨）。

③蓋の取り付け時は、蓋のツメと本体側のくぼみを合わせた後、図中の矢印：着方向にスライドし、しっかりと固定してください。

※リモコン用電池は、単四型乾電池２本です。また付属の電池は動作確認用ですので、すぐにバッテリーが切れてしまうことがあります。通常ご使用分は、別途ご用意ください。

※長期間本製品を使用しない場合は、リモコンの電池を取り出して保管してください。

No.	名称	機能
1	電源	電源のオン／オフを切り替えます。
2	インフォ	時間情報の表示／非表示を切り替えます。
3	タイトル	タイトルメニューを表示します。DVD ソフトによっては対応していません。
4	字幕	字幕表示を切り替えます。DVD ソフトによっては対応していません。
5	クリア	サーチ画面等で、入力した数字を消去します。
6	サーチ	指定のタイトル・チャプター・時間にジャンプします。
7	数字	・０～９：数字を使った選択項目の入力に使用します。通常再生中に数字入力すると、指定したタイトルにジャンプします（DVD によっては使用できません）。 ・＋ 10：10 以上の番号を入力するときに使用します。990 まで入力できます。例：31 と指定したい場合は、+10 ボタンを３回押した後、１ボタンを押します。
8	セットアップ	セットアップ画面を表示します。
9	方向	選択項目を上下左右に移動させます。
10	早送り／早戻し	早送り、もしくは早戻しを行ないます。
11	映像出力	映像出力の種類を切り替えます。
12	ズーム	画面の一部分を拡大表示します。押す毎に、拡大倍率が切り替わります。
13	ブックマーク	場面を指定し、任意の場面から読み込むことができます。
14	N ／ P	テレビ方式を切り替えます。間違ったテレビ方式に設定すると、映像を正しく映し出せません。本 DVD プレーヤーを日本国内で販売されているテレビに接続している場合は、通常 NTSC 以外のものには切り替えないでください。
15	L ／ R	音声出力を切り替えます（CD 再生時に限り有効）。
16	デフォルト	本 DVD プレーヤーの設定を、工場出荷時の状態に戻します。
17	コマ送り	コマ送り再生をします。
18	開／閉	ディスクトレイを開閉します。
19	消音	音声出力を一時的に無音にします。
20	音声	収録言語を切り替えます。DVD ソフトによっては対応していません。
21	アングル	アングルを切り替えます。DVD ソフトによっては対応していません。
22	プログラム	指定した順番で再生します。
23	PBC	SVCD、VCD2.0 ディスクを再生時に PBC 機能のオン／オフを切り替えます。
24	メニュー	ディスクメニュー画面を表示します。DVD ソフトによっては対応していません。
25	決定	選択項目の決定時に使用します。
26	頭出し（進／戻）	DVD（CD）を再生中、前もしくは後のチャプター（トラック）を頭出しします。
27	スロー	ゆっくりした速度で再生します。ボタンを押す毎に再生速度が切り替わります。
28	停止	停止します。１度押した場合は再生位置を記憶して止まり、２度押すと再生位置の記憶は消去されます。
29	再生／一時停止	ディスクの再生、および再生中の一時停止に使用します。
30	リピート	同じチャプター、もしくはタイトル全体を繰り返し再生します。
31	リピート A-B	範囲（始点：A、終点：B）を指定し、その間を繰り返し再生します。
32	音量	音量を調節します。



…押し込んだ状態で引っ掛かり、戻ってこなくなってしまったボタンの例

〈リモコンボタン操作が効かない？〉

…リモコンボタンを無理に強く押し込んだり、踏みつけたりすると、稀にボタンが押された状態で引っ掛かり、戻ってこなくなってしまう場合があります。

リモコンボタンのどれか一つでもこのような状態になっている時には、ボタン操作が効かなかったり、同じ動作を繰り返し行なう等の誤動作を起こします。

このような症状が起こる場合には、リモコンのボタンがめり込んだままになっていないか、確認してください。もしもこのようなボタンがある場合には、指で引っ掛かりを解除すると、正常に動作するようになります。

2 テレビ、外部機器 電源の接続

本章では、DVD プレーヤーをご使用頂くための各種接続をご紹介します。
テレビやスピーカーシステムとの接続等、数種類をご紹介しています。付属品だけを使った一般的な接続は、①でご紹介しています。その他の②〜⑤の接続については、別途接続用のケーブルが必要になりますので、ご使用環境に合わせてお選びください

①テレビとの接続／付属品だけを使った、一般的な接続　P11
…一般的な本製品とテレビとの接続方法についてご紹介します。付属の AV ケーブルを使って、接続することができます。

②テレビとの接続／お使いのテレビに S 映像端子が搭載されている場合　P11
…接続には、S 映像ケーブル（別売）をご用意ください。

③テレビとの接続／お使いのテレビにコンポーネント映像端子が搭載されている場合　P12
…接続には、コンポーネント映像ケーブル（別売）をご用意ください。

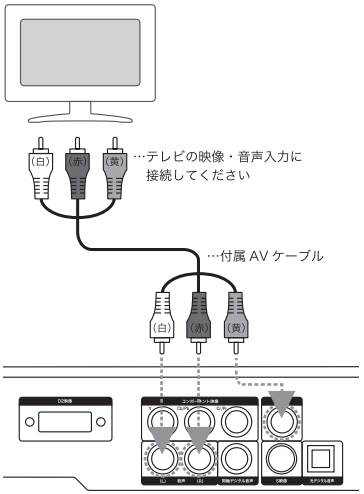
④テレビとの接続／お使いのテレビに D2 映像端子が搭載されている場合　P12
…接続には、D2 映像ケーブル（別売）をご用意ください。

⑤スピーカーセットとの接続　P13
…接続にはデジタル音声、もしくは光デジタル音声ケーブル（共に別売）をご用意ください。

⑥電源の接続　P13
…DVD プレーヤーを電源コンセントに接続し、主電源スイッチをオンにします。

※電源の接続は、全ての機器接続が終わってから行なってください。

①テレビとの接続／付属品だけを使った、一般的な接続



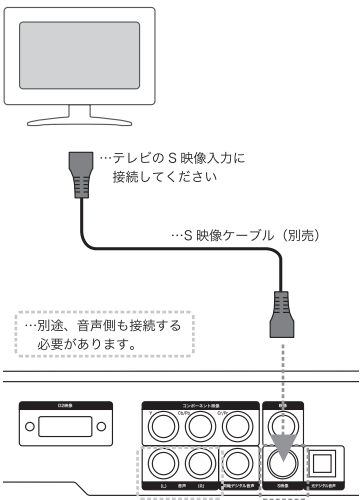
〈図①：2ch 音声、コンポジット映像での接続〉

一般的な本製品とテレビとの接続方法についてご紹介します。製品に付属の AV ケーブルだけを使って接続することができます。

左図①を参考に DVD プレーヤー背面の音声出力、映像出力とテレビの対応する端子を接続してください。

※接続には製品付属の AV ケーブルを使用します。

②テレビとの接続／ S 映像端子での接続



〈図②：S 映像での接続〉

お使いのテレビに S 映像端子が搭載されている場合の接続です。

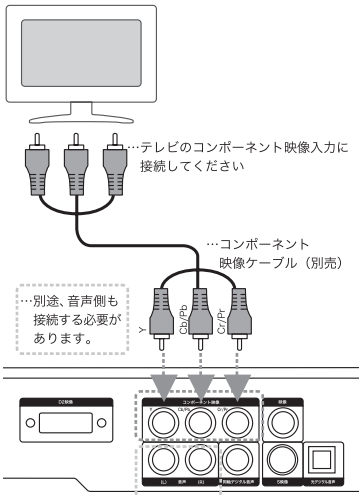
左図②を参考に DVD プレーヤー背面の S 映像とテレビの対応する端子を接続してください。

※接続には、S 映像ケーブルをご用意ください（別売）。

※ S 映像を使った接続のときは、DVD プレーヤーのセットアップ画面内、映像出力の設定は S-VIDEO を選択します（→ P28 参照）。

※この接続だけでは、音声は出力されません。本章の①または⑤の方法で、音声側の接続も行なってください。

③テレビとの接続／コンポーネント映像端子での接続



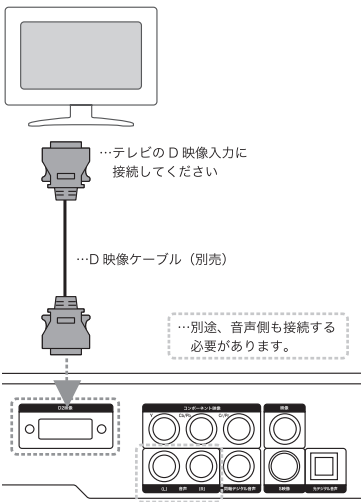
〈図③：コンポーネント映像での接続〉

お使いのテレビにコンポーネント映像端子が搭載されている場合の接続です。左図③を参考にプレーヤー背面のコンポーネント映像とテレビの対応する端子を接続してください。

※接続には、コンポーネント映像ケーブルをご用意ください（別売）。
※コンポーネント映像を使った接続のときは、DVD プレーヤーのセットアップ画面内で、映像出力の設定を「コンポーネントまたは P- スキャン」に切り替える必要があります（→ P28 参照）。

※この接続だけでは音声は出力されません。ご使用環境に合わせて、本章の①または⑤の方法で、音声側の接続も行なってください。

④テレビとの接続／ D2 映像端子での接続



〈図④：D 映像での接続〉

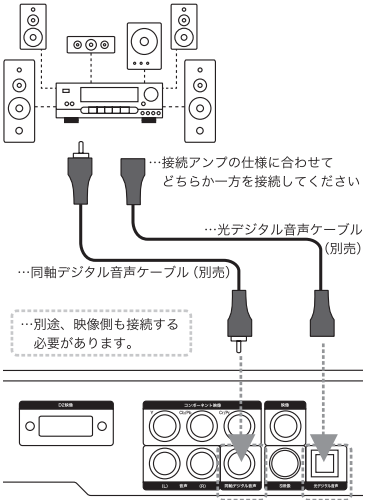
お使いのテレビに D2 映像端子が搭載されている場合の接続です。

左図④を参考にプレーヤー背面の D2 映像とテレビの対応する端子を接続してください。

※接続には、D 映像ケーブルをご用意ください（別売）。
※ D2 映像を使った接続のときは、DVD プレーヤーのセットアップ画面内で、映像出力の設定を「コンポーネントまたは P- スキャン」に切り替える必要があります（→ P28 参照）。

※この接続だけでは音声は出力されません。ご使用環境に合わせて、本章の①または⑤の方法で、音声側の接続も行なってください。

⑤スピーカーセットとの接続



〈図⑤：スピーカーセットとの接続〉

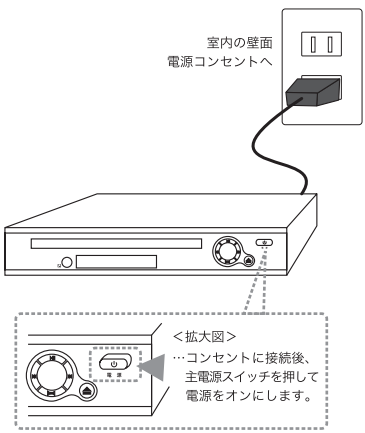
5.1ch に対応したスピーカーセットに接続し、音声出力を行なう場合について紹介します。

左図⑤を参考にプレーヤー背面のデジタル音声もしくは光デジタル音声出力と、スピーカーセットの対応する端子を接続してください。

※接続にはデジタル音声もしくは光デジタル音声ケーブルをご用意ください (別売)。
※デジタル音声を使った接続のときは、プレーヤーのセットアップ画面内で、音声出力の設定を「PCM またはビットストリーム」に切り替える必要があります(→ P29 参照)。

※この接続だけでは映像は出力されません。ご使用環境に合わせて本章の①〜④のいずれかの方法で、映像側の接続も行なってください。

⑥電源の接続



〈図⑥：電源の接続と、主電源スイッチ〉

電源の接続は、前述のテレビやスピーカーセット等、全ての接続が終わった後に行なってください。

プレーヤー背面にある電源ケーブルを、壁面のコンセントに接続します。

〈主電源スイッチをオンにしてください〉

電源の接続が完了したら、プレーヤー前面にある主電源スイッチを押して、電源をオンにしてください。

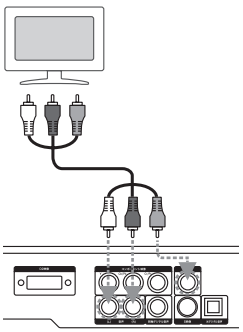
※ここで紹介した主電源スイッチが「オン」になっていないと、本体ボタンや付属リモコン等全ての操作を受け付けません。

3 DVD･CD再生時の基本操作

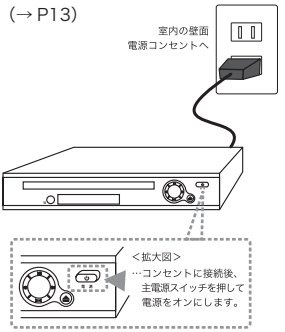
…本章では、DVD や CD を再生中の、各種操作についてご紹介します。
※テレビやスピーカーの接続等、ご使用環境によっては出力設定を切り替える必要があります。
後の〈Chapter4　各種設定〉でご紹介していますので、必要に応じて切り替えてください。

DVD の再生前に、前章までにご紹介した次の内容について再度ご確認ください。

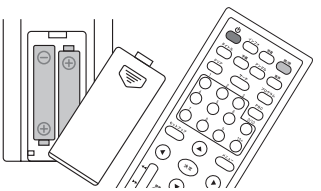
●各機器の接続（→ P10 ～）



●DVD プレーヤー本体の主電源ボタン（→ P13）



●リモコン電池のセット（→ P08）



接続テレビ、DVD プレーヤー本体の電源をオンにします

次の手順で、DVD プレーヤーとテレビの電源をオンにしてください。

1 テレビの電源をオンにして、入力切替をしてください

…テレビ側の入力端子が複数ある場合は、DVD プレーヤーを接続した端子の入力モードに切り替えてください（外部入力、ビデオ 1 等）。詳細は、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

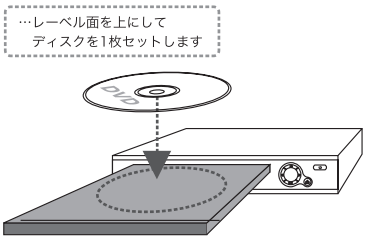
2 DVD プレーヤーの電源をオンにしてください

…DVD プレーヤーの電源をオンにするとテレビ画面上に、下図の起動画面が表示されます。

〈DVD プレーヤーの起動画面〉

※通常は、前章でご紹介した主電源スイッチをオンにした段階で、DVD プレーヤーの電源はオンになります。
上の "1" の段階で DVD の起動画面（左図）が表示されていなければ、リモコンの電源ボタンを押して、電源をオンにしてください。

DVD ディスクをセットします



1 ディスクトレイを開いてください

…開／閉ボタンを押すと、ディスクトレイが開きます。

2 DVD ディスクをセットしてください

…ディスクトレイ上の円形の溝に合わせて、ディスクを 1 枚レーベル面を上にしてセットしてください。

3 ディスクトレイを閉じます

…ディスクをセットし、開／閉ボタンを押すと、ディスクトレイが閉じ、ディスクの再生が始まります。

※ DVD の再生にあたり、次ページに記載の〈再生ディスクに関する注意〉をご覧ください。

〈再生ディスクに関する注意〉

…再生ディスクについて、次のことをご確認ください。

●ディスクトレイ内部に CD や DVD 以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

●本製品は「リージョン 2」に対応しています。
2 以外のディスクの再生はできません。

●お客様がご自身で DVD レコーダーや PC 等で作成されたディスク（DVD-R/RW など）につきましては、レコーダーの種類、メディアの種類、録画モードや録画時間、タイトル・チャプター数、メニュー画面内の構造等、組み合わせも多岐に渡り、読み込みに時間がかかったり、再生できない場合があります。また、DVD-RAM ディスクの読み込みはできません。特に VR モード、CPRM で録画したディスクにつきましては、条件の組み合わせがより複雑になり、上記の現象を起こしやすい傾向にあります（DVD-R/RW VR モードの CPRM ディスクにつきましては、必ず録画したレコーダーでファイナライズ処理を行ってください）。

…上記をご確認頂いた上で、以降 DVD 再生中の操作についてご紹介します。

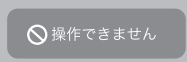
〈タイトルメニューの表示〉

複数のタイトルを収録した DVD では、読み込むと、まず DVD タイトルメニューが表示されます。メニュー画面内では、方向ボタンで項目を選択し、決定ボタンで確定すると再生が始まります。

再生中にリモコンのメニューボタン、もしくはタイトルボタンを押すと、DVD タイトルメニューにジャンプします。

〈参考：DVD ソフトのタイトルメニュー画面の例〉

※ DVD によっては、メニューまたはタイトルボタンを押しても「操作できません」と表示される場合があります（右下図は操作無効時の画面表示）。
また、ボタンによっては特定の状況下でしか操作できないものもあり、その際にも同様の画面表示が出ます。



〈再生／一時停止／停止〉

●再生と一時停止

…ディスクの再生中、再生ボタンを押すと一時的に再生を停止します（図 A-1）。
もう一度再生ボタン押すと一時停止は解除され、続きから再生が始まります（図 A-2）。

〈図 A-1〉
…一時停止時の画面表示

〈図 A-2〉
…再生時の画面表示

●停止

…再生中に停止ボタンを一度押すと、再生していた位置を記憶したまま停止します（図 B）。
この状態で再生ボタンを押すと、続きから再生が始まります。
再生中に停止ボタンを 2 回押した場合、再生位置の記憶は消去されます（図 C）。
次回再生をしたときは、ディスクの一番最初から読み込みます。

〈図 B〉
…再生位置を記憶した状態で停止したときの画面表示

〈図 C〉
…再生位置の記憶が消去され停止したときの画面表示

〈音量調節／消音〉

●音量調節

…音量調節は、DVD プレーヤー本体の音量＋／–ボタンで行ないます（図 D-1）。
音量レベルは 00 ～ 16 まで調整可能です。

〈図 D-1〉
…音量調節時の画面表示

※音量レベル 00 のとき、また次にご紹介する「消音」状態になっているときは音声は出力されません。

●消音

…一時的に音量をゼロにします。リモコンの消音ボタンを押す毎に、消音／出音が切り替わります（図 D-2）。また、消音状態にあるときに音量調節を行なうと、消音は解除されます。

〈図 D-2〉
…消音時の画面表示

〈スロー再生〉

…遅い速度で再生を行ないます。再生中にスローボタンを押すと、スロー再生が始まります。
スローボタンを続けて押すことで、再生速度が次のように切り替わります。
〈×1/2 → ×1/4×1/6 → ×1/8 →スロー再生解除〉
スロー再生は、再生ボタンを押すことでも解除できます。

〈図 E〉
…スロー再生中の画面表示

※スロー再生中は、音声は出力されません。

〈早送り／巻戻し〉

…早送り／巻戻しを行ないます。再生中に早送り（巻戻し）ボタンを押す毎に、早送り（巻戻し）速度が次のように切り替わります。 〈×2 → ×4 → ×8 → ×16 →早送り／巻戻し解除 〉

▶▶ ×2
〈図 F-1〉
…早送り中の画面表示

◀◀ ×2
〈図 F-2〉
…巻戻し中の画面表示

※早送り／巻戻し中は、音声は出力されません。

〈頭出し／スキップ〉

…再生中にスキップ（進む／戻る）ボタンを押すと、次もしくは前のチャプターの頭出しをします（図 G-1・2）。

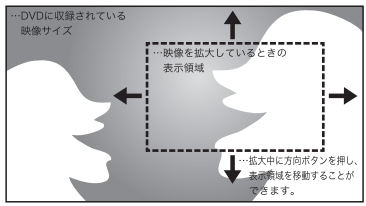
▶▶I スキップ
〈図 G-1〉
…スキップ（進）時の画面表示

I◀◀スキップ
〈図 G-2〉
…スキップ（戻）時の画面表示

〈画面の拡大〉

…再生中の映像を拡大して表示します。ズームボタンを押すと、映像が拡大表示されます（図 H-1）。
ズームボタンを押す毎に、拡大倍率が切り替わります。〈1 → 2 → 3 →拡大解除〉
また、映像拡大中に上下左右方向ボタンを押すと拡大表示領域を移動することができます（図 H-2）。

🔍 1
〈図 H-1〉
…拡大操作時の画面表示



〈図 H-2〉…映像拡大中の表示領域の移動、解説図

〈繰り返し再生〉

●リピート

…再生中のチャプターやタイトルを、繰り返し再生します。
再生中にリピートボタンを押すと、リピート再生が始まります。リピートボタンを続けて押すことで、繰り返し方が次のように切り替わります（図 I-1・2）。
〈チャプタ繰り返し→タイトル繰り返し→繰り返し解除〉

Rep チャプター
〈図 I-1〉
…チャプタ繰り返し再生時の画面表示

Rep タイトル
〈図 I-2〉
…タイトル繰り返し再生時の画面表示

● A-B リピート

…任意に指定した区間（A ～ B 間）を、繰り返し再生します。

再生中にリピート A-B ボタンを押すと、繰り返し区間の始点 A を指定、続けて押すと終点 B を指定します。終点 B を指定した直後、指定区間の繰り返し再生が始まります。繰り返し再生中、もう一度リピート A-B ボタンを押すと繰り返し再生が解除されます（図 J-1・2）。

〈図 J-1〉
…繰り返し区間の始点 A を指定したときの画面表示

〈図 J-2〉
…繰り返し区間の終点 B を指定したときの画面表示

〈指定場面の呼び出し①／サーチ〉

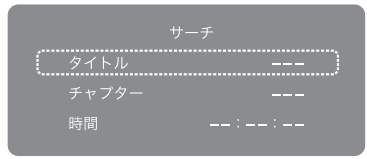
…タイトル、チャプター、時間を数字で指定して、任意の場面を呼び出します。

再生中、サーチボタンを押す毎に、サーチ画面の表示／非表示が切り替わります（図 K）。

●サーチ画面での操作

方向ボタンで選択項目の移動、数字ボタンで任意の場面を入力します。

タイトル、チャプター、時間を指定し、最後に決定ボタンを押すと指定場面からの再生が始まります（図 K では、タイトル部分が選択された状態です）。



〈図 K〉…サーチボタンを押し表示される、サーチ画面

〈指定場面の呼び出し②／ブックマーク〉

…再生場面をブックマークとして登録しておくと、次回からは登録場面を呼び出し、その地点から頭出し再生をすることができます。上で紹介しているサーチ機能が数字入力で場面を指定するのに対し、ブックマーク機能は現在再生している場面を登録します。

再生中ブックマークボタンを押す毎に、ブックマーク画面の表示／非表示が切り替わります（図 L）。

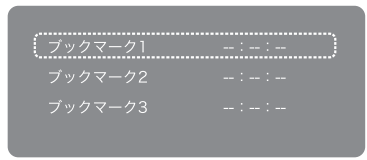
●ブックマーク画面での操作

場面の登録

…ブックマーク登録したい場面を再生中に、決定ボタンを押すとその場面がブックマークに登録されます。

ブックマークは 3 箇所を登録することができ、ブックマーク 1 ～ 3 の選択には方向ボタンを使います（図 L では、ブックマーク 1 が選択された状態です）。

登録したブックマークを消去するには、選択状態にした後、クリアボタンを押します。



〈図 L〉…ブックマーク画面

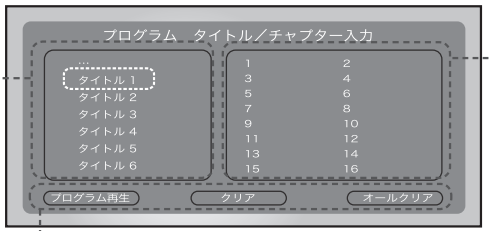
登録場面の呼び出し

…登録したブックマーク場面を呼び出すときは、方向ボタンで呼び出したいブックマークを 1 ～ 3 から選択した後、決定ボタンを押すと登録場面にジャンプします。

〈指定順序での再生／プログラム〉

…タイトル・チャプタを指定し、任意の順序で再生します。再生中にプログラムボタンを押す毎に、プログラム画面の表示／非表示が切り替わります（図 M-1）。

〈図 M-1〉
プログラム画面



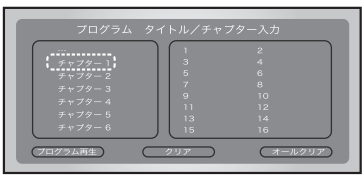
a
〈再生順序の選択〉
方向ボタンの上下でタイトルを選択後、決定ボタンを押すと、チャプタ選択画面に切り替わります。

b
〈再生順序一覧〉
再生順序を管理する一覧です。a で決定したタイトル・チャプタが順に登録されます。

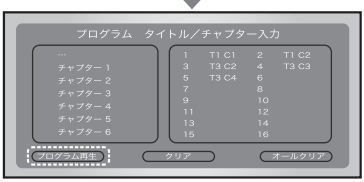
c　**〈プログラム画面内、操作パネル〉**
すべての操作はリモコンボタンで行なえます。特定の操作に関しては、こちらの操作パネルからも操作が行なえます。
また「オールクリア」は入力したプログラムを一括消去する機能で、この操作パネルからしか操作できません。
上図 a 部分の白い点線で囲われているのが、選択状態にある項目です。上図の a → c への選択移動は左右方向ボタンで、c → a への選択移動は上方向ボタンで行ないます。

●プログラム画面内でのリモコン操作…主に、次のリモコンボタンを使用します。

・方向ボタン：項目の選択　　・決定ボタン：項目の確定
・クリアボタン：入力内容の消去　　・再生ボタン：プログラム再生の開始



〈図 M-2〉：プログラム画面
…チャプタ選択中の表示



〈図 M-3〉：プログラム画面
…画面右側の再生順序一覧が出来上がった時の表示

※プログラム再生を中止したいときは、再生順序一覧の内容を全て消去してください。停止した時、DVD を取り出した時、電源をオフにした時は、作成したプログラムは自動的に消去されます。

●プログラムの作成から再生まで

〈手順 1〉：プログラム作成

…再生させたい順番に、タイトル・チャプタを指定します。図 M-1 の a 部分でタイトルを選択後、決定ボタンを押すと、図 M-2 のチャプタ選択表示に切り替わります。同様にチャプタを選択・決定すると、ここで選択した場面が画面右側の再生順序一覧に登録されます。

〈手順 2〉：プログラム修正

…手順 1 の操作を、指定したい分だけ繰り返し行なうと、図 M-3 のように画面右側の再生順序一覧表が作られます。プログラムは最大で 16 番目まで指定することができます。

再生順序一覧の内容を消去したい時はクリアボタンを押すと、一覧の後ろから順に 1 つづつ消去されます。

〈手順 3〉：プログラム再生を開始

…順番指定が終えたところで再生ボタンを押すと、プログラム再生が始まります。

〈アングルの切り替え〉

…場面により複数のアングルが収録されている DVD では、画面にアングル切り替えが可能なことを示すマークが表示されます（図 N）。
このとき、アングルボタンを押す毎に、映像アングルが切り替わります。

〈図 N〉：アングルマーク
…アングル切り替えが可能な場面で現れる画面表示

※複数のアングルが収録されていない DVD では、アングル切り替えはできません。

〈字幕言語の切り替え〉

…字幕が収録されている DVD の再生中は、字幕ボタンを押す毎に字幕の言語切り替え、及び字幕表示の有無を切り替えることができます（図 O）。

〈図 O〉
…字幕切り替え時の画面表示

※字幕言語は次の 3 つの方法で切り替えができます。
・ リモコンの字幕ボタンによる切り替え。
・ 再生中 DVD の、タイトルメニュー画面での切り替え。
・ セットアップボタンで表示される、設定画面内〈Chapter4　各種設定〉。
…DVD ディスクによっては、上記いずれかの方法が使用できない場合もあります。

〈音声言語の切り替え〉

…複数の音声が収録されている DVD の再生中は、音声ボタンを押す毎に音声、もしくは音声言語を切り替えることができます（図 P）。

〈図 P〉
…音声切り替え時の画面表示

※音声言語は次の 3 つの方法で切り替えができます。
・ リモコンの音声ボタンによる切り替え。
・ 再生中 DVD の、タイトルメニュー画面での切り替え。
・ セットアップボタンで表示される、設定画面内〈Chapter4　各種設定〉。
…DVD ディスクによっては、上記いずれかの方法が使用できない場合もあります。

〈画面への情報表示／インフォ〉

…画面上に再生時間の表示、及びディスクの再生状況等を表示します（図 Q）。
インフォボタンを押す毎に、インフォ画面の表示／非表示が切り替わります。

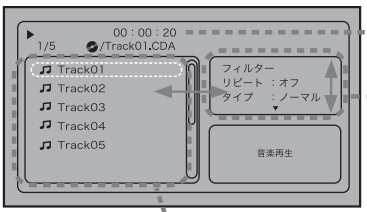
〈図 Q〉：インフォ画面

●インフォ画面の表示内容…図 Q の a ～ h は次の内容を表示しています。

a：再生中のファイル種類	e：アングル
b：再生中のタイトル	f：再生時間
c：音声言語	g：再生中のチャプター
d：字幕言語	h：ビットレート

CD やデータディスクの再生

音楽 CD や、データディスクを再生します。CD-ROM（CD-R/RW）、DVD-ROM（DVD-R）からのデータを再生します。図 R はディスク挿入後に表示される再生画面です。



〈図 R〉

上図のグレーの矢印は、選択時、及び画面内のカーソル移動時に押す、方向ボタンの向きです。

a 〈情報表示〉
…再生中のファイルの情報を表示します。

b 〈操作パネル〉
…通常再生の他に、繰り返しやシャッフル再生等を選択できます。
上下方向ボタンで項目選択後、決定ボタンを押すと再生モードの変更ができます。※図中の〈b～c〉間の行き来は、左右方向ボタンで行なえます。

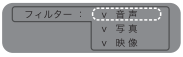
c 〈ファイルリスト〉
…挿入ディスクの中身が表示されます。再生したいファイルを上下方向ボタンで選択後、決定ボタンを押すと再生が始まります。

〈作成データの再生について〉

- PC やレコーダーを使い、ご自身で作成したメディアについては、互換性により再生できないものもあります。また、MPEG4 等の動画ファイルに関しては応用範囲も多義に渡り、規格内容も複雑です。ファイル形式やエンコード形式、作成環境・記録状態によって対応できない場合があります。
- 画像ファイルはファイルフォーマットや、カラーによっては正しく表示できない場合があります。
- 動画はファイル形式や圧縮コーデックのバージョンにより、正しく再生できない場合があります。また、動画に含まれる音声フォーマットによっては、音声が正しく再生できない場合があります。

■図 R 内の C 部分、操作パネルについての補足説明

…方向ボタンで選択後、決定ボタンを押すと、以下の再生モード切り替えが行なえます。



〈フィルター〉
図 R 内、b 部分のファイルリストに表示させる、ファイルの種類を切り替えます。先頭にチェック印の付いた項目だけを表示し、例えばデータディスクの内、写真ファイルだけを表示させたい…等の操作が可能になります。

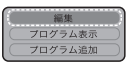
〈リピート〉
「オフ」のときが通常再生の状態です。リピートの仕様は、1 ファイルを繰り返し再生する「トラック」と、フォルダごと繰り返し再生する「フォルダ」があります。

〈タイプ〉
「ノーマル」のときが通常再生の状態です。その他に、順番をランダムに再生する「シャッフル」と、再生曲の出だし部分だけを再生する「イントロ」があります。

■プログラム

…再生プログラムを作成し、挿入ディスク内のデータを任意の順番で再生します。プログラムの作成は、再生中は行なえません。停止ボタンを押し、再生を止めてから操作してください。

1



手順 1：編集モードに切り替える
…図 R、画面右上の操作パネル内「編集」を選択し、決定ボタンを押すと「編集」部分が反転表示になり、編集モードに切り替わります。
※「編集」部分で決定ボタンを押す毎に「編集モード／再生モード」が切り替わります。

2

手順 2：トラックの指定
…画面左のファイルリストの中から、プログラムに入れ込みたいトラックを選択します。選択枠を画面左のファイルリストに移動します。プログラムに追加したいトラックを選択し決定ボタンを押すと、トラック名の頭にチェックマークが付きます。プログラムに追加したいトラック全てに同様の操作でチェックマークを付けてください。

3

手順 3：プログラムに追加
…手順 2 で選抜した（先頭にチェックマークの入ったトラック）をプログラムとして登録します。
再び図 R、画面右上の操作パネルに選択枠を移動し「プログラム追加」を選び、決定ボタンを押すと、選抜トラックがプログラムに追加されます。

4

手順 4：プログラム表示／確認
…プログラムの登録が完了したら、プログラム画面を表示させ、作成したプログラムを確認します。
画面右上の「プログラム表示」を選択し決定ボタンを押すと、作成したプログラムが画面に表示されます。内容が正しければ再生ボタンを押すと、プログラム再生が始まります。
※「プログラム表示」部分で決定ボタンを押す毎に「プログラム表示／ファイル表示」が切り替わります。

※電源を切る、もしくは挿入ディスクを取り出すと、作成したプログラムは消去されます。

4 セットアップ画面 各種設定

…本章では、用途やご使用環境に合わせて各種設定が行なえる " セットアップ画面 " についてご紹介します。

…セットアップ画面内では、次の項目の設定が可能です。

①言語設定 ····· **P26**

…OSD ／字幕／音声／ DVD メニュー

②映像設定 ····· **P27**

…TV 画面／映像モード／ TV 方式／出力設定

③音声 ····· **P29**

…デジタル出力

④視聴制限 ····· **P30**

…視聴制限／パスワード設定

⑤その他 ····· **P32**

…初期設定／スクリーンセーバー

…セットアップ画面内の操作は、次ページの〈セットアップ画面での主な操作〉をお読みください。また、各種設定方法については上に記載のページをご覧ください。

セットアップ画面での主な操作

…下記の要領で、各種設定を行ないます。

〈セットアップ画面の表示〉

…セットアップボタンを押すと、DVD プレーヤーのセットアップ画面（図 A）が表示され、ボタンを押す毎に表示／非表示が切り替わります。

●主に使用するリモコンボタン

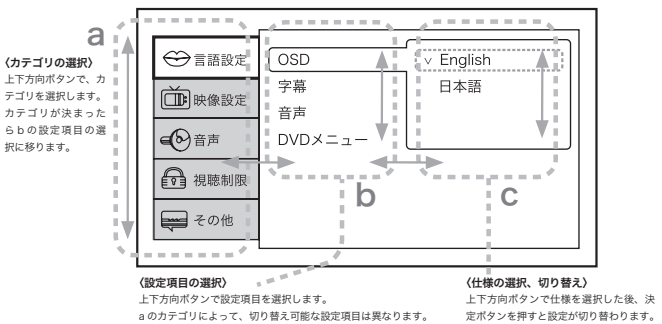
・方向ボタン：項目の選択、切り替えに使用します。下図 A のグレーの矢印は項目の移動時に押す、方向ボタンの向きを表しています（実際の画面には、矢印は表示されません）。

・決定ボタン：選択した項目を確定するときに使用します。

●手順

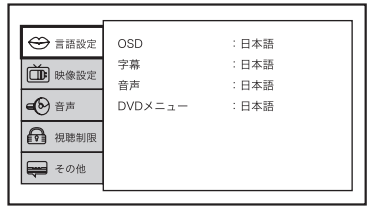
…a でカテゴリを選択／→ b で設定したい項目の選択／→ c で切り替えたい仕様を選択後、決定ボタンで確定すると、設定が切り替わります。

〈図 A〉：セットアップ画面



①言語設定

セットアップ画面内で使用する言語や、字幕言語、音声言語等を切り替えます。



〈図 B〉
セットアップ画面／言語設定

OSD（セットアップ画面言語）

…セットアップ画面内で使用する言語を選択します。また、本取扱説明書では、日本語を選択した場合についてご紹介してあります。

- English（英語）
- 日本語

字幕

…DVD 再生時の字幕に表示する言語を選択、もしくは非表示（オフ）にします。

- 英語
- 日本語
- 自動
- オフ

※ DVD ソフトによっては、ここでの設定が無効になる場合があります。その場合は、DVD タイトルメニューから字幕の切り替えを行なってください。

音声

…DVD 再生時の音声、もしくは音声言語を選択します。

- 英語
- 日本語

※ DVD ソフトによっては、ここでの設定が無効になる場合があります。その場合は、DVD タイトルメニューから音声の切り替えを行なってください。

DVD メニュー

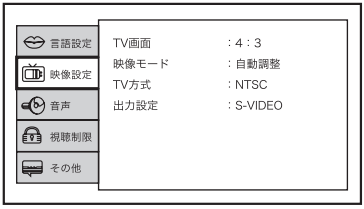
…DVD のタイトルメニュー画面で使用する言語を選択します。

- ●英語
- ●日本語

※ DVD ソフトによっては、ここで選択する言語をサポートしていない、または切り替えることができない場合があります。

②映像設定

画面比率やテレビ方式等、テレビ画面への映像出力方法を切り替えます。



〈図 C〉
セットアップ画面／映像設定

TV 画面

…接続テレビの画面比率に合わせて選択してください。

- ●4 : 3
- ●16 : 9

映像モード

…接続テレビへの、映像出力サイズを変更します。

- ●フルサイズ　：上の項目「TV 画面」で選んだ画面比率に合わせて最適化します。
- ●オリジナル　：DVD ソフトに収録されているオリジナルの状態で表示します。
- ●自動調整　：16 : 9 の比率で収録された映像を 4 : 3 比率の画面内に収め、画面上下の余白部分に黒い帯（レターボックス）を表示させます。
- ●パンスキャン：16 : 9 の比率で収録された映像の左右を切り落とし、4 : 3 比率の画面内に収めて表示します。

※ DVD ソフトによっては、いずれかに対応しないことがあります。

TV 方式

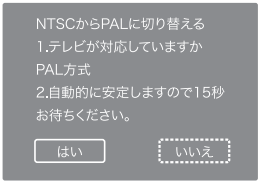
…国別で採用されている TV 方式を切り替えます。テレビに接続し外部出力を行なう際に、接続するテレビの仕様に合わせて設定してください。

- ● NTSC
- ● PAL
- ●自動

●テレビ方式、切り替え時の操作

…切り替えのために任意のテレビ方式を選択し決定ボタンを押すと、図のような画面が表示されます。この画面は、テレビ方式を誤って切り替えてしまわないための確認画面です。テレビ方式を切り替える場合は、画面内の「はい」を選択し、決定ボタンを押します。

テレビ方式を切り替えずに、元の設定のままにしたい場合は画面内の「いいえ」を選択し決定ボタンを押します。また、確認画面を表示させたまま約 15 秒間何も操作を行なわないと、自動的に元の設定に戻ります。



テレビ方式切り替え時に
表示される確認画面

※異なったテレビ方式を設定していると、映像を適切に表示できないことがあります。

PAL 方式・NTSC 方式とは？ NTSC 方式・PAL 方式とは、国別で分かれているテレビ方式の種類です。世界には大きく分けて 3 つのテレビ方式があり、その中でヨーロッパ各国では主に "PAL 方式 " が採用され、日本やアメリカでは一般に "NTSC 方式 " が採用されています。本製品のセットアップ項目の中には、このテレビ方式を切り替える機能があります。**日本で使用されるテレビ方式のほとんどは NTSC 方式ですので、通常は "NTSC" もしくは " 自動 " を選択してください。**

出力設定

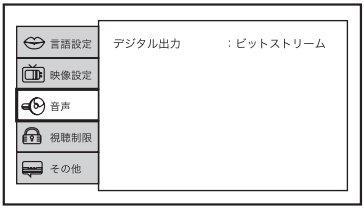
…テレビとの映像接続の仕様に合わせて、出力方法を設定してください。

- ● S-VIDEO　：コンポジット映像（AV ケーブルの黄色い端子）、および S 映像で接続しているときに選択します。
- ●コンポーネント：D 映像、およびコンポーネント映像で接続しているときに選択します。
- ● P- スキャン　：D 映像、およびコンポーネント映像で接続しているとき、プログレッシブ映像出力を行ないます。プログレッシブに対応しているテレビで使用できます。

※異なった出力方式を設定していると、映像を適切に表示できないことがあります。

③音声

DVD プレーヤーをスピーカーセットと接続し、デジタル音声出力を行なっている場合に設定が必要です。



〈図 D〉
セットアップ画面／音声

デジタル出力

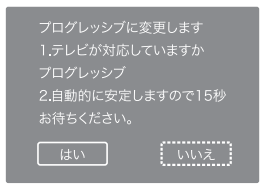
…DVD プレーヤーをスピーカーセットと接続し、デジタル音声出力を行なっている場合に設定が必要です。

●オフ	：デジタル音声出力を行いません。ここでオフを選択していると、接続スピーカーから音声は出力されません。
● PCM	：DolbyDigital のデジタル音声をリニア PCM に変換して出力します。
●ビットストリーム	：デジタル音声出力を行います。5.1ch 以上のスピーカーに接続した場合、サラウンド音声を再現することができます。

※ DVD プレーヤーをスピーカーセットに接続している場合は、接続機器の仕様に合わせて、必ずここで紹介しているデジタル出力を設定してください。正しく設定されていないと、音声は出力されません。

●映像出力設定、切り替え時の操作

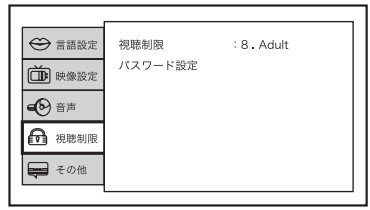
…切り替えのために任意の出力設定を選択し決定ボタンを押すと、図のような画面が表示されます。この画面は、誤って出力設定を切り替えてしまわないための確認画面です。
出力設定を切り替える場合は、画面内の「はい」を選択し、決定ボタンを押します。
出力設定を切り替えずに、元の設定のままにしたい場合は画面内の「いいえ」を選択し決定ボタンを押します。また、確認画面を表示させたまま約 15 秒間何も操作を行なわないと、自動的に元の設定に戻ります。



映像出力設定切り替え時に
表示される確認画面

④視聴制限

DVD 再生に関する視聴制限の設定と、視聴制限変更時に使用するパスワードを設定することができます。



〈図 E〉
セットアップ画面／視聴制限

視聴制限

…視聴年齢制限の設定をします。数字が小さいほど、視聴制限が厳しくなります。設定を変更するには、パスワードの入力が必要です（図 F）。また、ここで設定された年齢制限を超える DVD ソフトを再生するときにも、パスワード入力が必要になります。

〈パスワードの入力〉

視聴制限を変更しようとすると、パスワードの入力画面が開き、パスワード入力を求められます。正しいパスワードを入力しないと、設定は変更できません。

パスワード入力 ■ ■ ■ ■

〈図 F〉：パスワード入力画面

リモコンの数字ボタンを使って、4 桁のパスワードを入力後、決定ボタンを押してください。画面に「正しいパスワード」と表示された後、決定ボタンを押すと視聴制限の設定を変更することができるようになります。方向ボタンと決定ボタンを使って、任意のものに切り替えてください。

- 1_KID SAFE　…幼児がご覧になっても問題ありません。
- 2_G　…お子様がご覧になっても問題ありません。
- 3_PG　…お子様にとって不適切なシーンがあります。
- 4_PG13　…13 歳以下の方にとって不適切なシーンがあります。
- 5_PG R　…17 歳以下の方にとって不適切なシーンがあります。
- 6_R　…17 歳未満の方は保護者の同伴がない限りはご覧になれません。
- 7_NC 17　…17 歳未満の方はご覧になれません。
- 8_ADULT　…18 歳以下の方はご覧になれません。

※工場出荷時のパスワードは「8888」です。また、パスワードを新しく設定したいときは、次ページをご覧ください。
※ここで視聴制限を行っても、DVD ソフトの作成状態によっては無効になる場合があります。

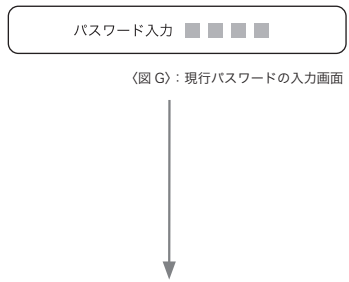
パスワード設定

…４桁の数字でパスワードを設定します。
パスワードの入力は、前ページで紹介した「視聴制限」の設定を変更するために必要になります。ここでパスワードを工場出荷時の設定から、任意に変更することができるので、必要に応じてパスワードを変更してください。

〈パスワードの設定〉
…パスワードを新たに設定します。ここでは主に、リモコンの方向ボタン、数字ボタン、決定ボタンを使用します。

1 パスワード入力画面の表示
…セットアップ画面より「パスワード設定」を選択して決定ボタンを押すと「パスワード入力画面（図 G）」が開きます。

2 現行パスワードの入力
…（図 G）のパスワード入力画面で、数字ボタンを使って、現在のパスワードを入力します。入力後、決定ボタンを押すと「正しいパスワード」と表示されます。そのまま、もう一度決定ボタンを押すと「新しいパスワード入力画面（図 H）」が表示されます。



〈図 G〉：現行パスワードの入力画面

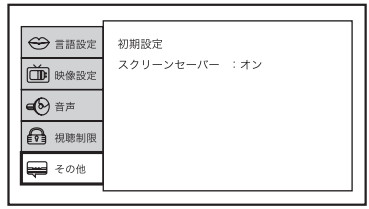
3 新パスワードの入力
…（図 H）の新しいパスワード入力画面で、数字ボタンを使い新しいパスワード４桁を入力します。入力後、決定ボタンを押すと新しいパスワードが確定します。

〈図 H〉：新パスワードの入力画面

※工場出荷時のパスワードは「8888」です。

⑤その他

画面焼き付けを防ぐためのスクリーンセーバーの設定と、DVD プレーヤーを工場出荷時の状態に戻す初期化の操作が行なえます。

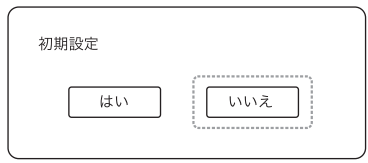


〈図 I〉
セットアップ画面／その他

初期設定

…すべての設定をリセットして、工場出荷時の状態に戻します。
設定の見直しや、機器の不具合がある場合や、パスワードを忘れてしまった等の場合には、ここでご紹介する手順で工場出荷時の状態に戻してください。

セットアップ画面より「初期設定」を選択し、決定ボタンを押すと確認画面が表示されます（図 J）。
「はい」を選択し、決定ボタンを押すと初期化が実行され、工場出荷時の状態に戻ります。



〈図 J〉：初期化、確認画面

※初期化を実行した後は、元に戻すことはできません。
※工場出荷時のパスワードは「8888」です。

スクリーンセーバー

…スクリーンセーバーとは、同じ画面を長時間表示させると起こる「画面の焼き付き」を防止する機能です。

オンに設定すると、DVD を停止した状態のまま一定時間経過した時にスクリーンセーバーが作動し、その後しばらく経つと自動的に電源が切れます。
再起動するには、リモコンの電源ボタンを押してください。

●オン
●オフ

5 故障かな？と思ったら

主な不具合の原因と、その解決方法

リモコンの電源ボタンを押しても電源が入らない

○プレーヤー本体前面の主電源スイッチを ON にしてください。

本体前面の主電源スイッチを ON にしても電源が入らない

○電源に接続されていることを確認してください。

本体の電源が勝手に切れてしまう

○スクリーンセーバーがオンになっているとき、再生をさせず一定時間が経過すると、電源が自動的にオフになります。そのときはリモコンの電源ボタンで起動できます。

リモコンが効かない

○リモコン先端の発光部分を、プレーヤー本体の受光部に向けて操作してください。
○プレーヤー本体のリモコン受光部の前に障害物があれば、取り除いてください。
○本製品のリモコンに付属している電池は動作確認用であり、長期間使用できません。
○電池切れになっていませんか？　電池切れになっている場合は電池を交換してください。本製品のリモコンに使用する電池は、単四型乾電池が 2 本です（マンガン電池推奨）。
○電池の向きが正しいか確認してください。
○ DVD の場面によっては、ボタン操作が効かない場合があります。
○リモコンボタンを無理に強く押し込んだり、踏みつけたりすると、稀にボタンが押された状態で引っ掛かり、戻ってこなくなってしまう場合があります。
リモコンボタンのどれか一つでもこのような状態になっている時には、ボタン操作が効かなかったり、同じ動作を繰り返し行なう等の誤動作を起こします。
このような症状が起こる場合には、リモコンのボタンがめり込んだままになっていないか、確認してください。もしもこのようなボタンがある場合には、指で引っ掛かりを解除すると、正常に

本製品が正常に動作しない場合は、こちらのトラブルシューティングをお読みください。不具合の原因と、その解決方法を確認することができます。

P02 ～ 04 に記載の注意書き、および本トラブルシューティングをお読みになっても問題が解決されない場合は、保証書の内容をご確認の上、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

動作するようになります。(P09 参照)。

音声が出ない

○消音ボタンが押されていて、消音状態になっていませんか？
○音量が 0 になっていませんか？
○巻戻し／早送り／スロー／一時停止／コマ送りの状態になっていませんか？

接続したスピーカーから音が出ない

○本体の音量が 0、または消音になっていませんか？　音量を上げてください。
○スピーカーの接続とケーブルを、もう一度確認してください。
○アンプやスピーカーの電源が入っていることを確認してください。
○接続したテレビやアンプの音量が最小になっていませんか？　音量を上げてください。
○デジタル音声出力を行う場合、セットアップ画面「音声」〉「デジタル出力」が「オフ」になっていると、デジタル音声が出力されません。「ビットストリーム」または「PCM」を選択してください。

接続したテレビから映像が出ない

○テレビの接続、および接続ケーブルを確認してください。
○テレビの電源が入っていて、テレビの入力切替が外部入力になっていることを確認してください（テレビ入力切替 ex. 外部入力やビデオ 1 等）。
○ D 映像出力、またはコンポーネント映像出力でテレビと接続している場合、映像出力モードが「S-VIDEO」になっていると映像は出力されません。もしも上記接続中で映像が表示されない場合は、リモコンの「映像出力」ボタンを数回押して「コンポーネント」に切り替えてください。

接続したテレビの映像が乱れている

○誤ったテレビ方式が選択されていませんか？　セットアップ画面の「映像設定」〉「テレビ方式」で、正しいテレビ方式を選択してください。日本国内のテレビ方式は「NTSC」です。通常は「NTSC」または「自動」を選択してください。テレビ方式の選択はリモコンの「N／Pボタン」でも行なえます。電源は入っているのに画面が白黒や、何も表示できていないときはN／Pボタンを押してみてください。

○ビデオ一体型のテレビやビデオデッキに接続すると、映像が乱れて視聴できません。これはマクロビジョンコピーガードが働いているためです。テレビのビデオ入力端子に直接接続してください。また、一部のビデオ一体型テレビは、視聴中にもコピーガードが働くことがあります。詳しくは、ビデオ一体型テレビのメーカーにお問い合わせください。

○ S 映像出力を使い、テレビに接続している場合、セットアップ画面の「映像設定」＞「出力設定」で「コンポーネントまたは P- スキャン」が選択されていると画面が乱れます。必ず「S-VIDEO」を選択してください。

ディスクが再生できない

○ディスクが汚れている場合は、ディスクをクリーニングしてください。

○ディスクが破損していませんか？　他のディスクを再生して確認してください。

○ディスクが裏面になっていませんか？　レーベル面を上にして、ディスクをセットしてください。

○ DVD-RAM は本製品ではサポートしておりません。

○温度差によって結露が生じている場合があります。数時間温度になじませてから再生を試みてください。

○ DVD のリージョンコードを確認してください。本製品で再生可能な DVD のリージョンコードは２です。それ以外のリージョンコードを持つ DVD は再生できません。

○お客様がご自身で DVD レコーダーや PC 等で作成されたディスク（DVD-R/RW など）につきましては、レコーダーの種類、メディアの種類、録画モードや録画時間、タイトル・チャプター数、メニュー画面内の構造等、組み合わせも多岐に渡り、読み込みに時間がかかったり、再生できない場合があります。また、DVD-RAM ディスクの読み込みはできません。
特に VR モード、CPRM で録画したディスクにつきましては、条件の組み合わせがより複雑になり、上記の現象を起こしやすい傾向にあります（DVD-R/RW VR モードの CPRM ディスクにつきましては、必ず録画したレコーダーでファイナライズ処理を行ってください）。

○ご自身で作成したメディアの読み込みには、多少お時間がかかる場合があります。また上であげたような再生上の不具合が出た場合は、一度ディスクを取り出し、もう一度再生を行うと、読み込み始める場合がありますのでお試しください。

メニューの言語が外国語になっている

○セットアップ画面の「言語設定（Language)」＞「OSD」で日本語を選択してください。

リモコンのサブタイトルボタンを押しても字幕の言語が変更できない

○ DVD の仕様によっては、ディスクメニューでのみ変更ができるようになっています。
○字幕を収録していない DVD では、字幕の変更はできません。

リモコンの音声ボタンを押しても、音声の切り替えができない

○ DVD の仕様によっては、ディスクメニューでのみ変更ができるようになっています。
○複数音声を収録していない DVD では、音声の切り替えができません。

製品仕様／お問い合わせ

製品型番	DS-DP206
本体寸法	224×255×52mm（横幅 × 奥行 × 高さ）
本体重量	1.28kg
電源	AC100V - 240V　50 - 60Hz
消費電力	15W
周波数特性	CD、4Hz ～ 20Hz（±3dB） DVD、48KHz：4Hz ～ 22Hz（±1dB）／ 96KHz：4Hz ～ 44Hz（±1dB）
S ／ N 比	≧ 90dB
歪率	≧ 0.3%
出力端子	AV 出力（コンポジット映像、2ch 音声）、S 映像出力 D2 映像出力、コンポーネント映像出力、光デジタル音声出力
テレビ方式	NTSC、PAL、自動
再生可能メディア	DVD、DVD-R/RW、CD、CD-R、CD-RW
動作環境	温度：5 ～ 35° C
製造国	中国

※本製品の外観や仕様は、改良のため予告無く変更する場合があります。
※本製品を使用する前に、必ず本書の注意事項をお読み頂き、用法を守り正しくお使いください。
※再生可能メディアについて…パソコンやレコーダーを使って、ご自身で作成されたディスクについては、作成環境によっては再生できない場合もあり、全てのメディアの再生を保証することはできません。

製造元

株式会社 ゾックス

〒 231–0033　神奈川県横浜市中区長者町 3–8–13　TK 関内プラザ 304

TEL：0120–602–302

ホームページ　http://www.zox–net.com

お電話でのお問い合わせは：月～金曜日の 10 時～ 17 時

※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。